



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

このたび、組合員並びにお取引先の皆さまに当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆さまから愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

2021年度の我が国経済を振り返りますと、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返され、緊急事態宣言の発出や全国各地でまん延防止等重点措置の適用による行動制限が実施されるなど、経済活動は力強さを欠き、私どもの取引先である中小企業・小規模事業者におかれましては、飲食、宿泊業関連を中心に幅広い業種で厳しい経営環境が続きました。

このような状況を踏まえて、平時から事業者と緊密な関係を築き、事業実態の把握に努めている当組合といたしましては、事業性評価による融資の取組みや伴走型支援などを通じ、できる限り迅速な取引先の支援に努めてまいりました。

今年度に入りましても、依然として新型コロナウイルス感染症の動向が懸念されるなか、半導体不足など部品供給制約による企業の生産活動への影響や、ロシアのウクライナ侵攻を要因とする資源価格の高騰と急激な円安を受けた物価上昇により個人の消費活動への影響も懸念され、我が国経済は先行き不透明な状況が続くと予想されます。

また、地域経済につきましても、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、従来からの人口減少や少子高齢化といった構造的要因が、中小企業・小規模事業者における人材不足や事業承継などの経営課題を顕在化させております。

このような厳しい状況のなかで、当組合は引き続き中小企業・小規模事業者のお客さまや個人のお客さまに寄り添い、金融の円滑化やコンサルティング機能の発揮を通じた支援に努めてまいる所存です。

当組合は“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆さまと共に発展し、地域になくてはならない信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月

理 事 長 河本 晋一